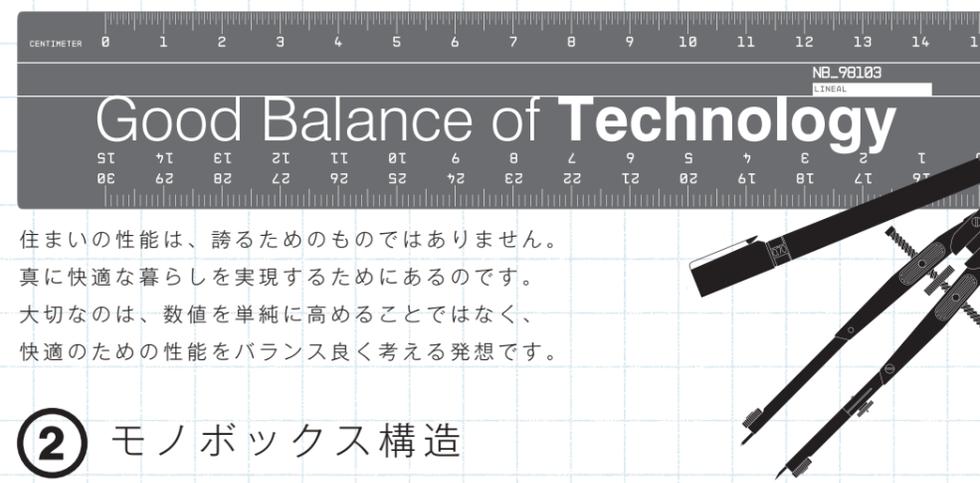


気密性・断熱性を
最大限に発揮させる、
独自のモノボックス構造。

スウェーデンハウスは左図のよ
うに①1階床組→②1階壁組→
③2階床組→④2階壁組→⑤小
屋組の順番で建ちあがります。そ
うして出来るのが、床・壁・
屋根の六面を強固に一体化させ
た、独自のモノボックス構造。②、
④で使われるのは、本誌142号
で詳しくご紹介した自社工場で
生産した壁パネルです。
高性能な住まいを全ての方に
等しく…このスウェーデンハウス
の想いを実現するためには、良い
部材を適切に使用することはも



住まいの性能は、誇るためのものではありません。
真に快適な暮らしを実現するためにあるのです。
大切なのは、数値を単純に高めることなく、
快適のための性能をバランス良く考える発想です。

② モノボックス構造

もちろん、家として高気密・高断熱
性能を発揮することが大前提。こ
のため六面を一体化させる独自の
建て方も、実は重要なポイントな
のです。
左図の、床と外壁、外壁と天井、
外壁どうしの接合部をご覧ください。
さい。それぞれの箇所、高い気
密・断熱性能を持続させるため
の取り組みがご理解いただけるこ
と思います。全て、何十年と時を重
ねても変わらずに高い性能を維
持するために必要不可欠なポイ
ントです。

さらにスウェーデンハウスで
は、お住まいになる前に、全ての
家のもちろんこれからあな
たがお住まいになる家も—Q
値（断熱性能を計算C値（気密
性能）を測定してお引き渡ししま
す。一棟一棟、全ての家が高性能で
あることを確認しているのです。
強度・気密性・断熱性といった快適
さをバランス良く、多角的にみつ
めるモノボックス構造。スウェー
デンハウスだからこそ追求できる
高性能へのこだわりが、日々の快
適な暮らしを支えています。

強度・高気密・高断熱の要、 モノボックス構造。

